

研究課題名: 攻撃的乳幼児の増加する東日本大震災被災地における保育士向け心理教育プログラム開発

研究種目: 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者: 大橋良枝 京都文教大学 臨床心理学部 教授

(概要)

東日本大震災から約 10 年が経過したが、沿岸部などの被害の甚大であった地域では愛着発達上の課題を抱える直接被災経験のない乳幼児が増加し、保育所等の地域子育てシステムが疲弊している。直接被災経験のある子どもたちの支援に関する研究や実践報告は多く見られるが、直接被災経験のない子どもたちの問題行動や、その子どもたちを抱えるシステムに関する研究は非常に少ない。本研究では、愛着発達上の課題を抱える乳幼児の増加問題に対し困り感を抱えている被災地の保育士や保育所が、当該児との間で成長促進的関係を構築するための心理教育プログラムを理論研究と実験的事例研究によって構成し、プログラムの効果を実証する事を目的とする。本研究は、将来的に大規模自然災害の多い本邦での地域精神衛生に関わる研究に発展させていくことを狙ったものである。

※R4 研究計画調書より抜粋